

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学品の名称 コアグピア APTT-N APTT試薬
供給者の会社名称、住所及び電話番号 積水メディカル株式会社
住所 茨城県龍ケ崎市向陽台三丁目 3 番 1 号
電話番号 0297-62-7551
FAX 番号 0297-62-5238
整理番号 16-03-01

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類:
健康に対する有害性 生殖細胞変異原性 区分 1B
生殖毒性 区分 1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない、分類対象外又は分類できないに該当する。

GHS ラベル要素:
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H340: 遺伝性疾患のおそれ。
H360: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。

注意書き:
【安全対策】

P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P280: 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P308 + P313: ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

P405: 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501: 内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則(明示する)に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号.
フェノール	0.1	3-481	108-95-2
硫酸銅(Ⅱ)五水和物	<0.01	1-300	7758-99-8

4.応急措置

吸入した場合	吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移すこと。気分が悪い時は医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚についた場合：ただちに多量の水と石鹼で洗うこと。炎症が生じ、続く場合には医師の手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯をすること。
目に入った場合	目に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	急性症状：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 遅発性症状：遺伝性疾患のおそれ。生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	個人用保護具を着用すること。

5.火災時の措置

適切な消火剤	周辺火災の種類に応じて粉末/二酸化炭素消火器、乾燥砂などを用いる。
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の措置に関する特有の危険有害性	加熱に容器が破裂するおそれがある。火災によって刺激性、腐食性または毒性ガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。消化後も大量の水を用いて容器を十分に冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業は風上から行う。個人用保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなど関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して風下の人を避難させる。作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。その他の環境情報については「12.環境影響情報」の項を参照して下さい。
封じ込め、浄化方法及び機材	乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取り扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用す

安全取扱い注意事項

る。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。

接触回避 衛生対策

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。
「10.安定性及び反応性」の項を参照
取扱後は手をよく洗うこと。本品を使用する時に飲食、喫煙をしてはならない。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、冷所(2～10℃)で密閉して保管する。

混触危険物質

酸化剤、酸性物質、金属から離して保管すること。

安全な容器包装材料

製品本来の容器で保管すること。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会

フェノール(CAS:108-95-2) : 5 ppm

ACGIH

フェノール(CAS:108-95-2) : 5 ppm

設備対策

屋内作業場での使用の場合は局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具

保護マスク

手の保護具

保護手袋。

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。保護長靴。

9.物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

淡黄色～淡緑色

臭い

不明

pH

データなし

融点／凝固点

—

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

不明

引火点

不明

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

—

n-オクタノール／水分配係数(log 値)

—

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

その他のデータ

なし

10.安定性及び反応性

反応性	通常の条件下では反応性はない。
化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	情報なし。
避けるべき条件	高温と直射日光
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

11.有害性情報

	成分の有害性情報	製品
急性毒性(経口)	フェノール(CAS:108-95-2): 急性毒性(経口)LD50:512 mg/kg(ラット)(ECH 161 (1994)) 硫酸銅(Ⅱ)五水和物(CAS:7758-99-8): 急性毒性(経口)LD50:300 mg/kg(ラット)(EHC 200 (1998))	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	フェノール(CAS:108-95-2): 急性毒性(経皮)LD50:670 mg/kg(ラット)(ECH 161 (1994))	区分に該当しない
急性毒性(吸入)	フェノール(CAS:108-95-2): 急性毒性(吸入, 蒸気)LC50:0.316 mg/L(NLM)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	フェノール(CAS:108-95-2):区分 1A-1C(RTECS(CD-ROM))	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	フェノール(CAS:108-95-2):区分 1(RTECS (CD-ROM)) 硫酸銅(Ⅱ)五水和物(CAS:7758-99-8):区分 1(CERI ハザードデータ集 2001-59 (2002))	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない。	分類できない
皮膚感作性	硫酸銅(Ⅱ)五水和物(CAS:7758-99-8):区分 1(EHC 200 (1998))	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	フェノール(CAS:108-95-2):区分 1B (EC CLP) 硫酸銅(Ⅱ)五水和物(CAS:7758-99-8):区分 2(ATSDR (2004)、EHC 200 (1998))	区分 1B
発がん性	分類できない	分類できない
生殖毒性	フェノール(CAS:108-95-2):区分 1B (EC CLP) 硫酸銅(Ⅱ)五水和物(CAS:7758-99-8):区分 2(ATSDR (2004)、EHC 200 (1998)、CERI ハザードデータ集 2001-59 (2002))	区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	フェノール(CAS:108-95-2):区分 1(呼吸器、心血管系、腎臓、神経系) (ECH 161 (1994), CERI・NITE 有害性評価書 No.32(2005), ATSDR (1998)) 硫酸銅(Ⅱ)五水和物(CAS:7758-99-8): 区分 1(神経系、肝臓、血液系、腎臓)、区分 3(気道刺激性) (CERI ハザードデータ集 2001-59 (2002), ICSC (J) (2001))	区分に該当しない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	フェノール(CAS:108-95-2):区分 1(心血管系、肝臓、消化管、血液系、腎臓、脾臓、胸腺、中枢神経系) (ECH 161 (1994), CERI・NITE 有害性評価書 No.32 (2005), ATSDR (1998)) 硫酸銅(Ⅱ)五水和物(CAS:7758-99-8):区分 2(呼吸器、血液系)(ATSDR (2004))	区分に該当しない

吸引性呼吸器有害性	分類できない。	分類できない
-----------	---------	--------

12.環境影響情報

生態毒性	フェノール(CAS:108-95-2): 甲殻類(ネコゼミジン) 48 時間 LC50 = 3.1mg/L(EU-RAR(2002)) 硫酸銅(Ⅱ)五水和物(CAS:7758-99-8): 甲殻類(オオミジンコ)の 48 時間 LC50=7 µg/L(EHC200、1998) 製品:水生環境有害性 短期(急性):区分に該当しない 水生環境有害性 長期(慢性):区分に該当しない
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13.廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	ごく少量を排水口より廃棄する場合は、配管を傷めるので大量の水と共に洗い流す。大量の場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を依頼する。使用した容器は、水で十分洗浄した後、分別廃棄する。
--	--

14.輸送上の注意

国内規制	
国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	「7.取扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
陸上輸送 消防法	非該当
海上輸送 船舶安全法	IMO の規定に従う。
航空輸送 航空法	ICAO/IATA の規定に従う。
国際規制	
海上規制情報	IMO の規定に従う。
航空規制情報	ICAO/IATA の規定に従う。
UN No.	Not applicable
Proper Shipping Name	Not applicable
Class	Not applicable
Packing Group	Not applicable
Marine Pollutant	Not applicable
Pictogram	Not applicable

15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) 非該当

労働安全衛生法

フェノール(CAS:108-95-2):

名称等を表示すべき危険有害物(法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9)

名称等を通知すべき危険有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2

別表第 9) 対象となる範囲(重量%) ≥ 0.1

※本品は体外診断用医薬品のため非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

医薬品医療機器等法

体外診断用医薬品

16.その他の情報

引用文献

1)製品評価技術基盤機構 http://www.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_index.html

2)厚生労働省 職場のあんぜんサイト

http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx

3)GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019)

4)GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(JIS Z7253:2019)

その他

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

改訂履歴

第 1 版:2013 年 7 月 1 日

第 2 版:2016 年 6 月 1 日

第 3 版:2016 年 6 月 24 日

第 4 版:2021 年 2 月 1 日

*******終わり*******